

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月12日

計画の名称	大府市宅地耐震化推進事業（防災・安全）															
計画の期間	令和06年度～令和06年度（1年間）											重点配分対象の該当	○			
交付対象	大府市															
計画の目標	大府市内の大規模盛土造成地について、第二次スクリーニング計画に基づき第二次スクリーニングを実施することで、宅地耐震化事業を推進し災害に強いまちづくりを目指す。															
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		15	A	15	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R6中旬	R6末
1	第二次スクリーニング結果の周知率を増加させ、地域住民の関心を高める。 周知率＝第二次スクリーニング結果を周知した大規模盛土造成地数/第二次スクリーニングを実施した大規模盛土造成地数	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
大府市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A-13												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	大府市	直接	大府市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング（2箇 所）	大府市						15	-	
												小計						15	
											合計						15		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大府市都市整備部都市政策課にて評価を実施	令和7年9月
	公表の方法
	市ウェブサイトにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング結果を地域住民に周知したことにより、大規模盛土造成への関心が高まり、自己所有宅地における防災意欲も高まった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし
特記事項（今後の方針等）	
第二次スクリーニング計画に基づき、第二次スクリーニングを実施した造成地について、経過観察を行うことで、宅地耐震化事業を推進し、災害に強いまちづくりを目指す。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング結果の周知率		
	最 終 目標値	100%	なし
	最 終 実績値	100%	